

【刊夕日七月三】



日曜大祭日
休
一月一
二五
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

卒業期や休暇に伴ふ

學生間の迷ひ兒郵便

平局で毎年三百七八十通
内三分の一を占むる封書

平郵便局に於ける配達下能に
の還付書状は毎年三百七八
十通で此の内一月の賀状の
行先が明瞭でないもの其他
葉書が約三分の二で残る三
分の一が封書になつてゐる
本年も既に一月に

多いそ
れが大部分
若し男女の交換で内容は云
明治初年の我が國の政治家
ふ迄もなく此の月を廻る迷
ひ子封書の多い原因を係員
の語る所によると地方とし
ては中女學校の卒業期並に
は寄年時代にワレンス夫
人の所に厄介になつてた。
ワレンス夫人を小母(プ
ットメール)と呼んで愛
慕した。ワレンス夫人は年
々たつたので音楽の研究な
ど、口實を設けて時々近所
の娘共の處に遊びに行く様
になつた。ワレンス夫人
はワレンスの將來を心配し
て、ある日ワレンスを呼ん
で云ふには、お前は近頃し
げくと近所の娘共に通ふ
様だが、これは將來ある青
年が將來を失はるゝ最も恐
ろしき道である。と懇々と
説き聞かせた。ワレンス
は黙つて聞いてたが、それ
では如何すればよいのかと
反問した。ワレンス夫人
はお前を現状より救ふ唯一
の道はお前は妾と性の交を
結ぶことだと教へて呉れた

内親王

御誕生

國民を擧げてお待ち申上
ぐる皇后陛下の御慶事は
本日午後零時二分内親王
殿下御誕生遊ばされ平町
役場の煙火を合圖に全町
國旗を掲げ祝意を表す

差出人

大低想像かつく殊に配達不
能が女から送る男へなもの
二月に這入つて葉書十八本
封書十二本に達した同じ迷
ひ子書状でも所用を明けす
けな葉書は大して

問題で

ないが封書
には相當考へて見ねばなら
ぬものがある之れを昨年の
月別に上げると左記の如く
例年十二月から一月に見る
二ヶと四、五、六の三ヶ
月及び十月が判で捺した様

古物物語

(十二)

東
西
物
語
三
月
五
日
四
月
十
三
日
五
月
十
三
日
六
月
九
日
七
月
六
日
八
月
六
日
九
月
七
日
十
月
十
日
十
一
月
五
日
十
二
月
十
日
十
二
月
十
日
十
二
月
十
日

鎌田火防組

總會

三名を表彰
平町字鎌田火防組台では來
る八日總會を開き役員改選
を行ふ筈であるが尚ほ十ヶ
年勤続の左記三名を表彰す
ると

陸軍記念日

平分會

平町在郷軍人分會では來る
十日の陸軍記念日に於て午
後一時忠魂碑前に一同の禮
拜後マルトモビル樓上に總
會を開き會務其他の報告及
び評議員、班長、組長の推
薦終つて午後二時半から左
記祝典の催に税り定員二百
名を限る一般公開をなし午
後六時宴會を開き萬歳三唱
の後解散すると

不景氣とは思ひの外

平局の貯金と替爲高

何れも増加の好現象は
漸く景氣回復の前兆か
郵便局に於ける去二月中
の貯金及び替爲の受拂状況
は左記の如く貯金では普通
及び日掛を合計する廿二萬
六千六百九十九圓の受に對し

番頭と飲

客のけん嘩

平町字研町飲食店谷地もと
万屋人白石敏雄(三)は去五
日午後一時頃同家の飯酒客
運搬夫栗原源三郎(三)と口
論の末冷蔵庫の上にあつた
短刀で源三郎の右頸部に約
寸位の傷害を與へ平署員
に檢査された

理事改選

石城産業組合部會で五日總
會を開き理事三名の改選あ
つたが左記當選した
▲小林清藏(勿志)太清左
衛門(江名)農林志原補加
藤茂茂(以上)

産米改良の

講演會

石城郡大野村に郡内多數な
米産地で未だ産米検査が普
及されなぬ爲め村當局と平
穀検査所に於て此の開發に
努め去五日は同村駒込小學
校で木名瀬平穀検査所長
の娘共の處に遊びに行く様
になつた。ワレンス夫人
はワレンスの將來を心配し
て、ある日ワレンスを呼ん
で云ふには、お前は近頃し
げくと近所の娘共に通ふ
様だが、これは將來ある青
年が將來を失はるゝ最も恐
ろしき道である。と懇々と
説き聞かせた。ワレンス
は黙つて聞いてたが、それ
では如何すればよいのかと
反問した。ワレンス夫人
はお前を現状より救ふ唯一
の道はお前は妾と性の交を
結ぶことだと教へて呉れた

中女學校の入學を控へ

子を有つ苦勞の親心

平の各校は依然超過の見込
志望者は昨年より少ないが
中女學校の入學期を控へて
願に變りはない其の入學考
志望當人の心算は云ふ迄も
ない夫れにも勝る親の心は
せめて中等教育受けなり學
ばしめたいと云ふのも更に
また以上の

平町所

在の同校は

例年入學志望の多い所では
年々各定員から相當の超過
が立派であるが縣立勢白
は轉されて來た關係ではない

見や、)

によつて

何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外

平署管内の

組頭會

今七日平署
會議室にて
平署では今七日午後一時か
ら同署會議室に管内消防組
頭會を開き來る四月中に於
て執行する春祭聯合檢閲そ
の他に關して打合をなした

産業部會の

理事改選

石城産業組合部會で五日總
會を開き理事三名の改選あ
つたが左記當選した
▲小林清藏(勿志)太清左
衛門(江名)農林志原補加
藤茂茂(以上)

石城郡大

野村にて

石城郡大野村に郡内多數な
米産地で未だ産米検査が普
及されなぬ爲め村當局と平
穀検査所に於て此の開發に
努め去五日は同村駒込小學
校で木名瀬平穀検査所長
の娘共の處に遊びに行く様
になつた。ワレンス夫人
はワレンスの將來を心配し
て、ある日ワレンスを呼ん
で云ふには、お前は近頃し
げくと近所の娘共に通ふ
様だが、これは將來ある青
年が將來を失はるゝ最も恐
ろしき道である。と懇々と
説き聞かせた。ワレンス
は黙つて聞いてたが、それ
では如何すればよいのかと
反問した。ワレンス夫人
はお前を現状より救ふ唯一
の道はお前は妾と性の交を
結ぶことだと教へて呉れた

拂戻が

十六萬一千

七百六十八圓この差引六萬
四千四百圓を増加し替爲に
ありては受三萬九千三百四
十五圓拂ひ六萬四千七百七
十八圓の差引に於ても二萬一
千卅三圓だけが地元

現金が

殖えたり

何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外
何れも不景氣とは思ひの外

番頭と飲

客のけん嘩

平町字研町飲食店谷地もと
万屋人白石敏雄(三)は去五
日午後一時頃同家の飯酒客
運搬夫栗原源三郎(三)と口
論の末冷蔵庫の上にあつた
短刀で源三郎の右頸部に約
寸位の傷害を與へ平署員
に檢査された

理事改選

石城産業組合部會で五日總
會を開き理事三名の改選あ
つたが左記當選した
▲小林清藏(勿志)太清左
衛門(江名)農林志原補加
藤茂茂(以上)

美しい

春蒔草花 (二)

球根類と

芝の植付

播種に對する土被ひは種子の見える程度でよろしい。そして此の上に薄い蔭か又は葉をかけて次には充分灌水する其の後は床が乾かぬやうに注意して苗の葉が二枚乃至三枚となつたならば同様の床に三寸か四寸位に一本づゝ植を換へるのである。此の苗が五、六寸伸び葉の數で云へば八、七枚となつてから蒔壇に植付けるのが普通の遣り方であるが、僅かの苗を作る場合や高等品の場合に於ては深さ一寸乃至二寸の平箱に砂の混つた土を入れて播種し發芽してから苗床に植かへて育苗するのもよろしい。

春植の球根
春期に植付ける球根には種々あるけれども主なるものを上ぐるなれば
カンナ、ダリア、グラデオラス、モントブレチア、トリトマ

等であつてカンナは貯藏して置いたもの又は他から購入した球根に一ツ二ツの芽をつけてから根株を分ちて方二尺餘りを標準に植付けるのがよい、次にグラデオラスは方一尺位に一球づゝが適當でモントブレチアは方一尺に二球乃至三球をトリトマは株分けして方二尺位に植付けるのです。

街客様之良品の賣

冬物入荷 澤山

伊関吳服店

ガソリン
モビール油
日本石油
株式会社

特約販賣

油問屋
關内商店

支店 郡山市 電話三三二八
支店 茨城県 關本駅前 電話三三三三

出張所 平町四丁目 郵便局前

電話三三三三

破格の勉強で
歡迎される

静岡本場 大角園 特約
小笠原茶 平町三丁目
半谷商店
平大町若松病院隣

第五回 生徒募集

一、卒業は産婆看護婦科を通じて一ヶ年

一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上の學力ある者へ無試験入學を許す

一、申込期日 四月八日迄

平南町
電話三〇七番
看護婦學校
校長 清野キヨ

金銀器 漆器 洋磁器 和磁器

價目 廉宜 質 高 品 美

本丸ほん

平町三丁目 電話一八二

募集廣告

一、和洋家具製作見習 五名

一、家具漆器商小役員 三名

本年尋常又ハ高等科卒業業者

右御希望者は御來談願います

本丸ほん
平町三丁目 電話一八二

磐城銘酒

味美 經濟 油醬

山崎合名會社

電話十番

磐城佑賢學舎生徒募集

一本 科 入高等科卒業程度の男女

一普通 科 尋常科卒業程度以上の男女

一 新 農 科 格 高等科卒業程度の男女

一、右各科共に入學試験は行はず
願書受付順に入學を許可す

一、新學期開始 四月六日

一、詳細は規則書請求のこと

昭和六年三月
平町六間門廿番地 (電話九三番)

磐城佑賢學舎

冬のサロン

暖房装置完備しました

暖かい御飲物

暖かい御料理

そして芳醇のカクテルや
洋食通の季節になりました

ドーゾ 御來店を.....

サロンの
田町 電話三五二番

笠間稻荷神社參拜
團體募集

期日 昭和六年三月廿六日(舊二月八日)
午前五時南町丸昌ホール集合
同日正六時出發

道程 自動車往復 笠間神社參拜祈禱
歸途 磯原大洗神社 田沼記念館 拜觀
魚來庵ニテ中餐 村松山 虚空藏尊參詣 同日歸平解散

會費 金四圓卅錢也(即納ノ事)

申込日 三月廿日迄トス

平南町 笠間神社參詣團體申込所
電話四二九番

後援 いはらき新聞平支局

ンゲイア

幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本劑のみ

肺病、肋膜炎、肺炎、カタル等

定價(一圓、四圓、六圓)

平町五丁目角
特約店 山野邊藥局

外科、小兒科 平町、電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院
院長 醫學士 高久忠

模範 裁縫

高島屋の洋服

平町駅前 電話三八六番

部 製 既
オーバー 五圓から
卅圓まで
二重廻し 七圓以上

注文部は各種破格の勉強

